

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人

八頭町社会福祉協議会

目 次

I 重点項目（まとめ）	1～2
II 事業実績	
1. 法人機能及び基盤強化	3
2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進	9
2-1 小地域福祉活動の促進	9
2-2 広域的な福祉活動の促進	14
2-3 福祉学習の推進と担い手づくり	20
2-4 共生型総合相談体制の構築	23
3. 資金貸付事業	29
4. 施設管理運営及び指定管理施設の運営	30
5. 介護予防・地域支援事業（町受託事業）	31
6. 介護保険事業の充実	33
7. 障がい福祉サービス事業の充実	36
8. 共同募金委員会への協力	36
9. 諸団体への活動支援	37
10. 職員状況	41
11. 参考資料	41
資料①（介護保険及び障がい福祉事業 年度別事業実績表）	43

■事業報告の付属明細書

定款第39条（2）の事業報告書を補足説明する重要な事項を記載する事業報告の付属明細書は、事業報告に含めて記載しています。

社会福祉法人 八頭町社会福祉協議会 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

八頭町社会福祉協議会の令和5年度は、次のとおり事業を推進した。

I 重点項目

1. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から感染法上の2類相当から5類感染症に位置づけられ、3年余り続いた外出自粛や行動制限などの対策が大きく転換したことにより、徐々に本来の姿に立ち返りながらおおむね事業計画に沿って事業を展開することができた。中でもコロナ禍により中止していた福祉まつり、鍛冶屋温泉まつりは4年ぶりの開催となり、世代や団体、役割を超えた住民同士の交流が深まり、地域の力とつながりを実感する機会となった。

まちづくり委員会の活動支援では、地区福祉活動計画の策定を推進した。コロナが開け本格的に活動を再開し始めたまちづくり委員会の取り組みを伴走的にサポートし、まちづくり委員会の課題把握を進め、集落支援員のサポートや男性の参加機会促進に向けた企画、未設置地区での機運づくりなどの取り組みを進めた。

そして、福祉学習プラットフォームの推進としては、共に過ごす経験を通じた学び合いの場づくりとして、八頭高校の授業に障がい当事者が参加して体験を語り合う福祉学習プログラムを実施した。また、地域共生社会を進めるための各種福祉イベントの展開、福祉関係委員を対象とした障がい当事者の体験談から共感的に学ぶ研修の場の実践を進めた。

また、担い手の育成として、地域で行われる活動や福祉イベントをボランティア体験の場として学生の参加を広く促し、多岐にわたるボランティアの研修プログラムを提供し、人材育成に努めた。

相談支援事業の推進については、相談支援センター「ほっと」を相談窓口とし、関係機関・専門機関と連携をしながら、課題を抱える相談対象者への課題解決に向けた相談支援を行った。新規の取り組みとして、狭間のニーズに対応するために、本人のニーズと地域資源との間を取り持ち、社会とのつながりを回復するために「ほっと×Dogプロジェクト」を企画し、日本スクールドッグ協会と協働して動物介在活動を取り入れた地域住民の居場所づくりを展開し、地域づくりと個別支援の両輪での支援体制の構築を図った。

さらに、町内の社会福祉法人で組織する法人連絡会の事務局を担い、地域課題の把握に努め、社会福祉法人の活動と住民の活動との協働による事業として、八

頭高校生に対する専門職の仕事に触れるためのボランティア体験プログラムを実施し、また、参加法人による専門職の地域活動への派遣に向けた協議を進め地域福祉の増進を図った。

2. 第3次八頭町地域福祉活動計画の策定

第2次八頭町地域福祉活動計画（第1期八頭町地域福祉推進計画）」の計画期間が令和5年度で終了することに伴い、第2次活動計画の進捗と評価を踏まえて6回にわたり協議を重ね、第3次八頭町地域福祉活動計画（第2期八頭町地域福祉推進計画）を策定した。

行政が計画する地域福祉計画との一体的な策定として、基本理念を「みんなで支えあい 誰もが自分らしく いきいきと幸せに暮らし続けられる 共生のまちづくり」とし、今後迎える縮小社会を見据えまちづくり委員会の組織強化に向けた地域再編、福祉学習プラットフォーム推進、担い手の確保、重層的支援体制の構築を重点課題として策定した。

3. 介護保険事業の運営強化

新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類感染症に位置づけられた後も継続した新型コロナ対策を徹底し、利用者が安心して利用していただけるようサービスの環境を確保し、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い質の高いサービスの提供に努めた。しかし、通所介護においては、新型コロナ感染症の5類移行後の利用者が延びてくることがない結果となり、介護保険事業全体に大きく影響することとなった。訪問介護は、前年度比110.6%、通所介護は、前年度比96.5%、居宅介護支援は、前年度比99.3%となり、介護全体では、前年度比97.7%と前年度を下回る厳しい状況となった。障害者自立支援は、134.9%と前年度を上回った。

4. 法人組織の基盤強化

公共性が高い法人として、ガバナンス強化や事業運営の透明性の確保に努めた。事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行のため、随時、役員会（理事会・評議員会）、総務・介護保険事業委員会等を開催し、法人運営と地域の実情に応じた事業展開の検討を行った。さらに、社協だよりの発行・ホームページ等による広報活動を行い社協活動への理解と参加促進を図るとともに、会費・寄付金等自主財源確保に取り組むなど経営基盤強化に努めた。また、現況報告及び会計計算書等を公開し、法令に添った情報公開を行った。

法人の自主財源については、会費納入率は83.7%で、納入金額は前年度比98.1%、共同募金配分金額は、前年比90.7%、寄付金は前年度比73.6%となり、地域福祉を推進していく上での町民からの貴重な財源として協力いただいた。

II 事業実績

1 法人の機能及び基盤強化

(1) 役員会及び委員会等の開催

① 理事会の開催（定数：理事6名以上～10名以内）

回数 開催日	出席状況		審議事項	結果
	理事	監事		
第1回 6月8日	9名 /9名中	2名	1. 令和4年度事業報告書について 2. 令和4年度会計報告書について 3. 新理事候補者の推薦について 4. 新監事候補者の推薦について 5. 令和5年度第1回評議員会の開催について	同意
第2回 6月26日	10名 /10名中	1名	6. 会長、副会長の選任について	選任
第3回 9月14日	10名 /10名中	2名	7. 令和5年度資金収支補正予算書（第1回）（案）について 8. 令和5年度会長表彰（案）について 9. 評議員選任解任委員会委員の解任及び選任について 10. 令和5年度第2回評議員会の開催について	同意 選任 同意
第4回 12月18日	9名 /10名中	2名	11. 積立金の取崩しについて 12. 社会福祉法人八頭町社会福祉協議会の令和5年度資金収支補正予算書（第2回）（案）について 13. 令和5年度第3回評議員会の開催について	同意
第5回 3月18日	10名 /10名中	1名	14. 令和5年度資金収支補正予算書（第3回）（案）について 15. 事務決裁規定の一部改正（案）について 16. 事務局及び職員に関する規程の一部改正（案）について 17. 職員給与規程の一部改正（案）について 18. 令和6年度役員等賠償保障契約の内容の決定（案）について 19. 令和6年度事業計画（案）について 20. 令和6年度資金収支予算書（案）について	同意

② 監事会の開催（監事2名）

回数	開催日	出席状況	監査事項
第1回	5月24日	2名	令和4年度事業報告書及び会計報告書（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表並びに財産目録）について

第2回	11月10日	2名	令和5年度中間事業報告書及び中間会計報告書（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表）について
-----	--------	----	--

③ 評議員会の開催（定数：評議員11名以上15名以内）

回数 開催日	出席状況	審議事項	結果
第1回 6月26日	14名 /15名中	1. 令和4年度事業報告書について 2. 令和4年度会計報告書について 3. 新理事の選任（案）について 4. 新監事の選任（案）について	承認
第2回 9月22日	14名 /15名中	5. 令和5年度資金収支補正予算書（第1回）（案）について	承認
第3回 12月27日	15名 /15名中	6. 積立金の取崩しについて 7. 令和5年度資金収支補正予算書（第2回）（案）について	承認
第4回 3月26日	14名 /15名中	8. 令和5年度資金収支補正予算書（第3回）（案）について 9. 令和6年度事業計画（案）について 10. 令和6年度資金収支予算書（案）について	承認

④ 総務委員会、介護保険事業委員会の開催（各委員会：理事5名、監事1名）

委員会名	開催日	出席状況	内容
総務委員会	8月10日	6名	1. 委員長、副委員長の選任について 2. 地域福祉活動計画の進捗状況について 3. 年度別収支状況について 4. 介護保険事業の現状報告について
介護保険事業委員会	8月10日	6名	1. 委員長、副委員長の選任について 2. 年度別収支状況について 3. 介護保険事業及び障がいサービス事業の年度別推移について 4. 介護保険事業及び障がいサービス事業の現状報告について 5. 今後の介護保険事業の推進について
総務・介護保険事業合同委員会	1月30日	11名	1. 介護保険事業及び障がいサービス事業の現状報告について 2. 令和6年度介護保険制度改正について 3. 介護保険の動向について 4. 今後の通所介護事業の運営について 5. 給与規程について

⑤ 役職員研修会

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
5月23日	第1回市町村社協常務理事・事務局 局長会議	湯梨浜はごろも苑	1名
6月20日	緑陰大学	ハワイアロハホール	14名
7月28日	社会を明るくする運動二町合同研究 大会	船岡地区公民館	4名
7月31日	トップミーティング・包括的支援体 制整備推進研修	新日本海新聞社中部本 社ホール	3名
8月22日	第1回東部地区社会福祉協議会会 長会	郡家老人福祉センター	2名
8月31日	県民総合福祉大会	倉吉未来中心	11名
9月26日	市町村社協役員セミナー	倉吉未来中心	4名
9月27日	NPO法人わいわいみ・な・み視察 研修	兵庫県豊岡市竹野町	3名
10月16日 ～17日	市町村社協先進地視察研修	島根県松江市、大田市	1名
11月21日	事例から学ぶ！職場のハラスメント	鳥取市人権交流プラザ	1名
12月12日	第2回市町村社協常務理事・事務局 局長会議	倉吉体育文化会館	1名
1月19日	第3回市町村社協常務理事・事務局 局長会議	オンライン	1名
2月5日	第2回東部地区社会福祉協議会会 長会	郡家老人福祉センター	2名
2月21日	市町村社協ガバナンス研修会	オンライン	5名
2月24日	鳥取県福祉研究学会	鳥取看護・短期大学	6名

⑥ 役職員人権研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
6月19日	八頭町人権教育推進協議会総会	中央公民館	3名
12月3日	第18回八頭町部落解放研究集会	中央公民館	3名
12月21日	人権学習会「ひきこもり支援と人権」	本所	24名
1月24日 ～26日	DVD視聴「カンパニユラの夢」	船岡支所	9名
3月19日	DVD視聴「合理的配慮」	八東支所	12名

(2) 職員の人材育成と資質向上

① 外部研修への参加の促進

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
6月19日	市町村社会福祉協議会新任職員研修	倉吉福祉センター	2名
7月4日 ～5日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者コース	鳥取県福祉人材センター	4名
7月28日	あいサポートメッセンジャー養成	鳥取県福祉人材センター	2名

	研修		
8月23日 ～24日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修中堅職員コース	鳥取県福祉人材センター	1名
9月21日	苦情解決研修会	郡家老人福祉センター	3名

② 職場内学習会

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
10月	あったかほのぼの学習会	本所・船岡・八東	全職員
10月5日	安全衛生学習会「事故防止のための交通安全運転」	本所	43人
11月	ヒヤリハット学習会	本所・船岡・八東	全職員
1月	苦情提言学習会	本所・船岡・八東	全職員
2月7日	安全衛生学習会「楽しく運動して心身がリフレッシュ、ダイエットにも効く運動」	本所	35人
3月	ハラスメント研修会	本所・船岡・八東	全職員

③ 職員の社会貢献活動の実施

地域	活動日	活動内容
郡家	5月26日	老人福祉センター周辺の草刈り
船岡	6月2日	船岡保健センター土嚢整備及び清掃活動
八東	6月19日	鍛冶屋農免道路の草刈り、溝掃除
全体	9月15日	八東運動公園屋内運動場周辺清掃

④ 福祉関係の新規資格取得の促進

福祉関係資格取得についての助成を規定し、国家資格等の資格取得への負担を軽減することにより、専門性の向上に係る自己啓発への取り組みを支援し、職員の資質の向上及び業務の質の向上を図りました。

令和5年度資格取得

- ・ 社会福祉主事任用資格 2名
- ・ ファイナンシャルプランナー2級 1名

(3) 福祉サービス苦情解決事業

	第三者委員 (3名)	苦情相談件数	令和4年度
八頭町	(郡家) 吉田文子 (船岡) 吉田律子 (八東) 大平さよ子、小林祐子	0件	0件

(4) 広報・啓発事業の充実

地域福祉活動事業や社協事業等について、広く住民に理解を得ることを目的に、広報誌やホームページ等を活用し啓発活動をした。

① 社協広報誌「社協だより」の発行

年4回、6,000部発行(7月、10月、1月、4月)

② ホームページの運営

ホームページを管理運営し、インターネットの即時性を活用した情報発信・情報提供に努めた。

③ 社協会費用チラシの配布（7月発行）

福祉のまちづくりを進めるための貴重な財源として、住民の皆様の理解・協力をしていただけるよう広報啓発を行った。

④ 社会福祉大会の開催 11月5日（日）

- ・八頭町社会福祉協議会会長表彰
- ・伝達表彰式（鳥取県福祉研究学会鳥取県知事表彰）
（エイジレス・ライフ実践事例内閣府特命大臣表章）
- ・記念講演「あきらめない心」
講師：伊藤真波
- ・参加者 157名
 《社協会長表彰》

内容	該当項目	該当年数	該当者数
会長表彰	民生児童委員功労	8年以上	1名
〃	団体功労（社会福祉協議会）	6年以上	1名
〃	団体功労（老人クラブ）	〃	4名
〃	団体功労（身障協会）	〃	2名
〃	団体功労（共同募金委員会）	〃	1名
〃	まちづくり委員会	〃	2名

(5) 寄附金事業

① 祭壇貸出事業

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
祭壇貸出件数	1件	1件	0件	2件	3件

② 弔電事業件数

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
弔電件数	80件	31件	56件	167件	185件

(6) 財源の確保

7月を会費月間としてチラシを全戸配布し、集落区長を通じて社協会費の納入にご協力いただいた。社協会費の納入世帯数は、83.7%、会費収入は、前年度比98.1%となった。寄付金収入は、前年度比73.6%となった。

① 会費納入世帯数及び納入割合

	会費依頼数 (7/1 現在)	納入割合 (%)	一般会員 (納入世帯)	特別会員		合 計
				個 人	事業者	
郡 家	2,812	81.5%	2,290	2	41	2,333
船 岡	1,093	88.8%	971	0	9	980
八 東	1,253	84.2%	1,054	1	14	1,069
合 計	5,158	83.7%	4,315	3	64	4,382
令和4年度	5,086	86.4%	4,392	3	66	4,461

② 一般会員・特別会員（個人）の納入額

	一般会員 (納入額：円)	特別会員(円)		合 計(円)
		個 人	事業者	
郡 家	2,101,000	2,000	215,000	2,318,000
船 岡	971,000	0	55,000	1,026,000
八 東	1,054,000	2,000	75,000	1,131,000
合 計	4,126,000	4,000	345,000	4,475,000
令和4年度	4,205,700	6,000	350,000	4,561,700

③ 寄付金の件数と金額

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
寄附金件数	41 件	15 件	34 件	90 件	93 件
寄付金収入額(円)	893,420	440,552	802,876	2,136,848	2,903,877

④ 共同募金配分金収入額

	令和5年度	令和4年度
共同募金配分金収入額(円)	2,734,828	2,990,825
歳末たすけあい配分金(円)	1,002,760	1,132,000
合 計	3,737,588	4,122,825

(7) 福祉機器・介護用品斡旋事業

地域住民の在宅での生活支援事業として日常的な介護用品等の貸出・斡旋を行い在宅福祉サービスの充実を図った。

① 福祉機器の貸出

	車いす	ポータブルトイレ	入浴用いす
貸出件数	67 件	18 件	2 件

(8) 社会福祉法人の地域における公益的な取組

①社会福祉法人連絡会との連携

八頭町内の5つの社会福祉法人により設立した「社会福祉法人連絡会」と連携し、福祉課題の解決に向けた地域づくりへの取組みを推進した。

開催日	開催内容	開催場所	参加人数
6月21日	第1回法人連絡会代表者会	郡家老人福祉センター	19名
11月6日	第2回法人連絡会代表者会	郡家老人福祉センター	12名
3月6日	複合課題に対応する相談連携に向けた研修会	郡家老人福祉センター	14名
3月27日	第3回法人連絡会代表者会	郡家老人福祉センター	12名

○八頭高校看護医療類型コース ボランティア受け入れ

医療・福祉に関する進路選択を考えている高校生に対し、ボランティア活動の場として受け入れ、活動を行った。福祉の仕事に触れることで、高校生自身の進路や将来の職業選択を具体化できるようサポートし、将来の福祉人材の確保に向けて推進した。

【実施期間】 令和5年8月4日～10日

【受入延人数】 22人

○台風7号の被害復旧に向けたボランティア活動

【活動期間】 令和5年8月21日～30日

【活動参加法人】 3法人

②えんくるり事業（県内の社会福祉法人が協働実施）

様々な「生活のしづらさ」を抱えながら制度に結びついていない、あるいは制度の狭間にある方の課題など地域における福祉課題・生活課題に対応するため、鳥取県社会福祉協議会（基幹）と県内の社会福祉法人による公益的な取り組みに協働し、困窮相談支援を行った。

	相談件数	利用者数
えんくるり事業	347件	0名
令和4年度	15件	3名

③職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
9月25日	第2回えんくるり事業相談員連絡会	倉吉体育文化会館	1名
12月15日	第3回えんくるり事業相談員連絡会	湯梨浜はごろも苑	2名
1月16日	えんくるり事業「地域後見セミナー」	新日本海新聞社	3名

(9) 災害時における支援体制の推進

- ① 災害ボランティアセンター設置運営及び避難施設としての使用に係る協定の締結による災害時における支援体制
- ② 鳥取県内社会福祉協議会災害時の相互応援協定の締結
- ③ 能登半島地震に伴う鳥取県内の社会福祉協議会災害時の相互応援協定を通じた被災地ボランティアセンター派遣

派遣日	内容	場所	派遣人数
3月7～13日	災害ボランティアセンター運営支援	能登町	2名

2 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進（重点項目）

2-1 小地域福祉活動の促進

(1) 未設置地区まちづくり委員会の設立支援

○国中地区まちづくり委員会の設立支援

地区に配置された集落支援員の行動計画、事業企画や運営、広報など、コミュニティーソーシャルワーカー及び生活支援コーディネーターが伴走的に支援を行った。住民や既存の地域活動とつながりや地区単位での集いの場への参加が広がった。

○西郡家地区まちづくり委員会設置に向けた展開

地区組織がされていない地区であり、地区での集いの場を希望する地域

の機運づくりを目的とした、「健康づくりの集い」を実施した。

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
7月19日	健康づくりの集い	中央公民館	3名
12月20日	健康づくりの集い	中央公民館	20名
3月26日	健康づくりの集い	中央公民館	12名

(2) 地域づくり事業

誰もが参加することができる様々な集いの場づくりを進め、課題を抱えた人・世帯を地域の関係につなぎ戻し、人と人のつながりの中で支え続けることができる地域づくりを一体的に進めた。

① 地区まちづくり委員会の運営支援

12地区でまちづくり委員会が設立され、各地区の特徴を活かした地域福祉活動が進んでいる。地域共生社会の実現が求められ、その重要性がますます高まる中、まちづくり委員会の取り組みが安定して行うことができ、かつ、住民同士の支え合いを広げていくことができるように、地域の想いに寄り添いながら活動支援を行った。

地域	まちづくり委員会名	拠点場所	愛称
郡家	上私都地区まちづくり委員会	上私都地区福祉施設	ここいち
	中私都地区まちづくり委員会	中私都地区福祉施設	ぶらっと
	下私都地区まちづくり委員会	下私都地区福祉施設	きんさいや
	東郡家地区まちづくり委員会	東郡家地区福祉施設	ふれあいの里たから
	大御門地区まちづくり委員会	大御門地区福祉施設 (子育て支援センター内)	にこにこ
船岡	大江地区まちづくり委員会	大江地区福祉施設	なごみ
	済美地区まちづくり委員会	済美地区福祉施設	憩や
	船岡地区まちづくり委員会	船岡地区福祉施設	ゆみりん
	隼地区まちづくり委員会	隼地区福祉施設 (隼Lob.内)	すまいる隼
八東	安部地区まちづくり委員会	安部地区福祉施設 (安倍地区公民館内)	あべ茶屋
	八東地区まちづくり委員会	八東地区公民館	ほっと八東
	丹比地区まちづくり委員会	男女共同参画センター	いきいき丹比

② 地区福祉活動計画策定支援

・小地域福祉活動推進研修会の開催

開催日	開催内容	開催場所	参加人数	備考
5月31日	済美地区小地域福祉活動推進研修会	済美地区公民館	21人	済美地区福祉活動計画改定に向けた地域課題把握のためのワークショップ
6月24日	大御門地区小地域福祉活動推進研修会	大御門地区福祉施設	24人	ワークショップの実施と検討会の立上げ合意
9月11日	船岡地区小地域福祉	船岡地区福祉	16人	福祉関係委員同士によ

	活動推進研修会	施設		る意見交換情報交換・地域課題を把握するワークショップ
9月12日	隼地区小地域福祉活動推進研修会	隼 Lab.	24人	福祉関係委員同士による意見交換情報交換・隼地区まちづくり委員会の取り組みの共有
11月27日	大江地区小地域福祉活動推進研修会	大江地区福祉施設	16名	大江地区福祉活動計画の改定にかかる地域の現状・課題を振り返るワークショップ
12月2日	上私都地区小地域福祉活動推進研修会	上私都地区福祉施設	21名	上私都地区福祉活動計画の改定にかかる地域の現状・課題を振り返るワークショップ
2月26日	東郡家地区小地域福祉活動推進研修会	東郡家地区福祉施設	21名	東郡家地区福祉活動計画の改定にかかる地域の現状・課題を振り返るワークショップ

・地区福祉活動計画策定支援

期日	開催内容	備考
5月31日	済美地区まちづくり委員会事業推進委員会	第2次計画策定委員会設置の合意形成
8月2日	大御門地区福祉活動計画（コミュニティプラン）検討会	協議記録整理、プラン案作成
8月30日	大御門地区福祉活動計画（コミュニティプラン）検討会	協議記録整理、プラン案作成
9月1日	済美地区福祉活動計画策定委員会	第2次計画策定へ向けた手法（案）について協議
9月25日	大江地区まちづくり委員会事業推進委員会	第2次計画策定へ向けた手法（案）について協議
9月27日	大御門地区福祉活動計画（コミュニティプラン）検討会	協議記録整理、プラン案作成
9月29日	済美地区福祉活動計画策定委員会	第1次計画の進捗評価
10月28日	済美地区まちづくり委員会・子育て世帯意見交換会	子育て世帯等へのヒアリング
11月20日	済美地区福祉活動計画策定委員会	今後必要な取り組み・第1期計画で掲げていた取り組みの継続検討
12月5日	大御門地区福祉活動計画（コミュニティプラン）検討会	協議記録整理、プラン案作成
12月11日	大江地区まちづくり委員会事業推進委員会	第1次計画の進捗評価

1月29日	大江地区まちづくり委員会事業推進委員会	「第2期八頭町地域福祉推進計画」の分析・第2次計画の取り組み検討
2月9日	済美地区福祉活動計画策定委員会	「第2期八頭町地域福祉推進計画」の分析・第2次計画における具体的取り組み案を検討
2月14日	大江地区福祉活動計画検討コアメンバー会議	第2次計画の重点目標ならびに具体的な取り組み検討（コアメンバー会議素案作成）
2月26日	大江地区まちづくり委員会事業推進委員会	コアメンバー会議素案を元に協議・事業推進委員会にて承認
3月4日	済美地区福祉活動計画策定委員会	第2次計画の骨子案検討
3月15日	済美地区まちづくり委員会事業推進委員会	第2次計画の骨子案説明
3月27日	大江地区まちづくり委員会事業推進委員会	冊子作成について検討

③ 地区を基盤とした見守りネットワークの推進と福祉関係委員との連携

少子高齢化に伴う社会構造や価値観の変化により、見守りの対象となる方は増加する一方で、つながりの希薄化から、従来の委員による1対1の見守り体制の継続が難しくなってきたことから、現在の地域社会に即した見守り体制の検討を行い、地区を基盤とした新たな見守り体制の構築を図った。

開催日	開催内容	対象	参加人数
7月24日	第1回隼地区まちづくり委員会・民生児童委員連絡会	隼地区まちづくり委員会役員・民生児童委員・関係機関	10名
8月18日	地区を基盤とした新たな見守り体制についての検討会	八頭町民生児童委員協議会役員	10名
12月13日	八頭町民生児童委員協議会船岡支部定例会	船岡支部民生児童委員	13名
2月7日	第2回隼地区まちづくり委員会・民生児童委員連絡会	隼地区まちづくり委員会役員・民生児童委員・関係機関	9名

(3) 地域福祉関係委員の育成と福祉活動の推進

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、住民が主体的に地域の担い手となり、高齢者等を地域で見守り支え合う仕組みを推進するとともに、地域福祉を担う福祉関係委員等の育成を行った。

① 地域福祉推進協議会委員の委嘱

住民の意見や住民の立場から見た社協事業に助言を行う委員を委嘱し、地域福祉の推進を図りました。

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
地域福祉推進協議会委員	14名	8名	11名	33名	33名

② 地域福祉推進協議会の開催

開催日	開催内容	開催場所	参加人数
7月21日	障がい当事者の語りを通じた学び合い	郡家老人福祉センター	26名
11月25日	認知症当事者との語りを通じた学び合い	郡家老人福祉センター	12名

③ 福祉推進員の委嘱と活動支援

近隣の住民の見守りを行い、課題のある人の早期発見につなげるため、集落単位で福祉推進員を委嘱して、住民の見守りや課題のある人の早期発見につなげるとともに、民生児童委員やボランティア、愛の輪協力員、地区福祉推進組織（まちづくり委員会）と協力して地域の福祉課題を早期発見し、解決に結びつける体制づくりを進めた。

	郡家	船岡	八東	合計
福祉推進員数	69集落 54名	24集落 24名	40集落 35名	133集落 113名

④ 愛の輪協力員による見守り体制の強化

ひとり暮らし高齢者など日常生活に不安を抱える世帯に対して、声かけや見守りによる安否確認を実施するために、地域での見守り体制の強化を図った。

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
見守り者数	25名	10名	40名	75名	92名
愛の輪協力員数	25名	10名	44名	79名	97名

(4) 地域見守りネットワーク（こだまネットワーク）事業

日常生活において支援を要する人に対し、ネットワーク体制整備を図ることにより、住み慣れた家でいつまでも安心して暮らすことができるように、関係団体や関係機関と協力しながら安心・安全な地域づくりをめざした。

- ・福祉関係委員の見守り・連携により、生活課題の早期発見
- ・関係機関との連携
- ・地区福祉推進組織（まちづくり委員会）との連携、協力

(5) 集落福祉活動の促進

① 集落サロン事業

地域の一人暮らし、虚弱、高齢、障がい等のため外出の機会が少なく家に閉じこもりがちな方々が、地域の身近な公民館等でボランティアと共にふれあいを深め、孤独感の解消、健康づくり・仲間づくりを通して、生きがい活動の場となるように支援を行った。

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
ふれあいサロン数	27ヶ所	14ヶ所	15ヶ所	56ヶ所	58ヶ所
サロン登録者数	490名	224名	348名	1,062名	1,020名

② ふれあいサロン世話人連絡会

次年度の実施に向けて手続きやサロンノートの活用について説明を行いました。

開催日	サロン数	開催場所	参加人数
2月20日	5サロン	下私都地区福祉施設	5名
2月20日	11サロン	郡家老人福祉センター	5名
2月20日	4サロン	大御門地区福祉施設	7名
2月27日	7サロン	中私都地区福祉施設	6名
2月28日	5サロン	船岡地区福祉施設	5名
2月28日	9サロン	隼LAB2階図工室	6名
2月28日	9サロン	八東地区公民館	8名
2月29日	6サロン	丹比地区公民館	5名

(6) 災害時における支え愛地域づくり推進事業

この事業では、地域住民組織または住民組織の連合体が主体となって、支え愛マップづくりや地域支え愛会議、避難訓練を通じ、独居、寝たきり及び認知症の高齢者、障がい者等（要支援者）に対する災害時の避難支援の仕組みづくりを進める。今後は、災害時の対応を円滑に進めるための平常時の見守り等、災害時の要支援者の避難支援に係る課題解決のための地域づくりを推進した。

① 災害時における支え愛地域づくり推進事業

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
1) 災害時要支援者対策促進事業	0集落	0集落	1集落	1集落	2集落
2) 災害時要支援ステップアップ事業数	0	0	0	0	0

※令和5年度末までの実施集落

- 1) 33集落（麻生、市場、落岩、福本、西御門、見槻中、西谷、福井、橋本、皆原、新興寺、日田、小別府、茂田、東市場、篠波、郡家中区、郡家西区、新庄、北山、志谷、宮谷、才代二、若葉、万代寺、池田、三山口、才代一、郡家東区、下日下部、岩淵、山路、横田）
- 2) 2集落（北山、福本）

2-2 広域的な福祉活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の推進

本事業では、地域で活躍する豊富な人材の中で、地域で活動できるようなボランティア人材を発掘して、育成する研修・養成講座に取り組み、ボランティアへの理解を深めるとともに、ボランティア活動への登録の推進に取り組んだ。今年度は、広報・啓発活動にも努め、ボランティアセンターとしての機能の充実を図った。

① ボランティアセンター運営委員会の開催

回数	開催日	出席/定数	開催内容
第1回	5月11日	8/16	令和4年度事業報告、令和5年度事業計画（案）、運営委員の任期についての意見交換、各活動についての意見交換

② ボランティア研修・養成講座の開催

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
5月24日	第1回地域でとりくむレクリエーション講座	郡家老人福祉センター	20名
7月29日	傾聴コミュニケーション講座	郡家老人福祉センター	14名
8月25日	第2回地域でとりくむレクリエーション講座	郡家老人福祉センター	19名
11月15日	第3回地域で取り組むレクリエーション講座	郡家老人福祉センター	8名
12月8日	第3回地域で取り組むレクリエーション講座アーカイブ配信	郡家老人福祉センター	3名
2月1日	令和5年度生活支援サポーターフォローアップ講座「語りの会」	郡家老人福祉センター	10名

③ ボランティア団体・グループとの共催事業・イベント実施

開催日	団体・グループ	開催内容	開催場所
5月10日	傾聴やず「うなづき」	傾聴サロン	郡家老人福祉センター
7月19日	傾聴やず「うなづき」	おしゃべりすっきりサロン（傾聴サロン）	郡家老人福祉センター

④ ボランティアのグループ・個人登録数

地域	調理	配達	デイ	美化	傾聴	生活支援サポーター	その他	合計
郡家	8名	3名	4名	0名	11名	24名	11名	61名
船岡	0名	5名	7名	0名	0名	4名	0名	16名
八東	0名	3名	9名	0名	0名	7名	0名	19名
合計	8名	11名	20名	0名	11名	35名	11名	96名
令和4年度	31名	11名	20名	0名	14名	39名	11名	126名

⑤ ボランティア団体の登録数

地域	団体名	活動内容	会員数	令和4年度
郡家	赤十字奉仕団	環境美化、事業運営ボランティア	48名	50名
	やず手話の会	手話ボランティア	15名	19名
船岡	赤十字奉仕団	環境美化、事業運営ボランティア（配食・調理等）	72名	77名
	大江 生活を見つめる会	環境美化、会食調理、配達	11名	12名
八東	赤十字奉仕団	環境美化、事業運営ボランティア	36名	49名
	花づくりボランティア	環境美化	25名	24名
合計			207名	231名

⑥ ボランティアの団体育成助成事業

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
ボランティア団体育成助成数	2 団体	2 団体	2 団体	6 団体	6 団体

⑦ 地域団体によるボランティア活動

団体名	活動日	活 動 内 容
郡家赤十字奉仕団	4 月 19 日	郡家老人センターの周辺の草刈り
船岡赤十字奉仕団	5 月 9 日	船岡保健センター周辺の草刈り
八頭町老人クラブ女性部	5 月 30 日	郡家老人センターの窓ふき、周辺の草取り
花づくりボランティア	6 月 5 日	八東地域福祉センター花植え、草取り
八東赤十字奉仕団	6 月 13 日	鍛冶屋農免道路の草刈り、溝掃除
民生児童委員協議会八東支部	6 月 13 日	鍛冶屋農免道路の草刈り、溝掃除
済美老人クラブ	6 月 30 日	船岡保健センター周辺の草刈り
花づくりボランティア	7 月 27 日	八東地域福祉センター草取り
坂町長寿会	9 月 27 日	船岡保健センター周辺の草刈り
八頭町身体障害者福祉協会	9 月 29 日	船岡地域福祉センター周辺の草刈り
八頭町シルバー人材センター	10 月 18 日	郡家老人センターの周辺の草刈り、剪定
やず手話の会	10 月 18 日	郡家老人センターの花植え

(2) 災害時における災害ボランティアセンター運営体制の構築

災害発生時に被災者を支援しようとするボランティアと被災者をコーディネートし、ボランティア活動を円滑に推進することで、被災者が一日も早く安心した生活を取り戻されることを目的とする災害ボランティアセンター運営体制の構築を図った。

① 災害復旧支援ボランティア活動の実施

8月15日、台風第7号の通過に伴う大雨により、八頭町内においても道路の崩落や土砂崩れなどの災害が発生しました。災害復旧支援の要望件数が限られていたため、町との協議により災害ボランティアセンターの立ち上げとせず、八頭町ボランティアセンターで災害復旧ボランティア活動を行った。住居敷地内に土砂が流入した世帯を支援するため、災害復旧支援ボランティアを募集し、8月21日から8月30日までの6日間、土砂撤去支援活動を行った。

八頭町内の個人ボランティア、企業、社会福祉法人、鳥取県職員、八頭町役場職員等の方々、延べ161人にご協力いただいた。また、活動支援物資として軍手やマスク等を寄贈していただいた。

- 支援総数 3件
- 支援内容 敷地内に流入した土砂の撤去
- 活動者数 延べ161人

(単位：人)

	8/21	8/22	8/23	8/25	8/29	8/30	合計
個人	11	11	6		1	6	35
社会福祉法人 (れしーぶ・やず)					8	5	13
企業 (こおげ建設)				8			8
八頭町職員	4	4	6		4	5	23
鳥取県職員	12	12	12		12	12	60
社協職員	4	5	4		5	4	22
合計	31	32	28	8	30	32	161

② 災害ボランティアセンター研修

8月に起こった台風7号のボランティア活動を振り返る研修（グループワーク研修）を職員で実施した。この研修を行うことで、参加者でグループワークを行い、そこで出た意見をもとに、次回の災害ボランティアセンター設置模擬訓練や次に起こるかもしれない災害時に、社協職員として円滑に活動が出来ることを目的として実施した。

(3) 住民参加による地域福祉事業の充実

① さわやか福祉基金助成事業

高齢者の在宅福祉サービスの充実のため、地域住民による配食のボランティアの活動を支援し、併せて配達ボランティア等を活用育成し、利用者の安否確認等の事業を行った。

○さわやか配食事業

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
さわやか配食回数	190回	99回	57回	346回	329回
さわやか配食数	277食	109食	57食	443食	689食

○高齢者交流事業

一人暮らし高齢者の交流会（介護予防事業含む、なかよし会・ぼちぼち会）

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
なかよし会の集い	4回	12回	11回	27回	26回
利用者数	38名	146名	140名	324名	308名

○男のチャレンジラボ「男塾」

男性の地域活動への参加促進やつながりづくりを目的として開催した。

	内 容	会 場	参加人数
12月4日	アウトドア活動（たき火）	下私都地区福祉施設	11名
3月18日	アウトドア活動（鳥まるごと料理）	中私都地区福祉施設	13名

② 共同募金配分金事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的に、共同募金の配分金事業を推進した。

【老人福祉活動】

○高齢者等の福祉事業

事業名	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
敬老の贈り物事業（米寿）	81名	33名	49名	163名	143名

○老人福祉助成事業

開催日	事業名	開催場所	参加者数
6月9日	老人クラブ連合会高齢者スポーツ交流会（ウォーキング大会）	八東地域内	72名

【障がい児・者福祉活動】

○障害福祉サービス事業所助成事業

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
障害福祉サービス事業所数	3ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	6ヶ所	5ヶ所

○障がい者福祉活動支援事業

開催日	事業名	開催場所	参加者数
6月21日	身体障がい者家族親善グラウンドゴルフ大会	八東総合運動公園	31名
7月22日	八頭町身障協会・育成会・家族合同体育大会	八東体育文化センター	70名

【児童・青少年福祉活動】

○生産活動助成事業

地域	保育所	小学校	中学校	合計	令和4年度
郡家	3	2	1	6	6
船岡	1	1	—	2	2
八東	1	1	—	2	2

○保育園児クリスマスプレゼント事業

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
保育園児クリスマスプレゼント	331名	86名	76名	493名	534名

【母子・父子福祉活動】

○ひとり親家庭中学卒業お祝い事業

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
中学卒業祝い事業	4名	0名	0名	4名	3名

【福祉育成・援助活動】

幅広い世代を通して、支え合う福祉の心を育むとともに、ボランティア活動の活性化・地域での支え合い活動の推進を図り、みんなで安心して暮らせる福祉のまちづくりに資するため推進した。

○地域共生型イベント推進会議の設置

年間に行っていた各福祉イベントを「地域福祉を推進するための場」としてあらためて定義づけ、「地域共生」「相互理解」「つながり」「団体の枠を超えた連携・協働」として取り組むために、地域共生型イベント推進会議を設置し、同じテーマを1年を通じて協議を重ねることで、連携・協働を促す機会としても位置づけた。

開催日	開催内容	参加者数
6月1日	会議の設置目的の共有・令和5年度の事業予定について	15名
7月25日	令和5年度福祉まつりについて	11名
9月12日	令和5年度福祉まつりについて	11名
10月13日	令和5年度福祉まつりについて（総括） 令和5年度地域共生にじいろフェスタについて	12名
12月26日	令和5年度地域共生にじいろフェスタについて	14名
2月16日	令和5年度地域共生にじいろフェスタについて	12名
3月19日	令和5年度地域共生にじいろフェスタについて（総括） 令和6年度地域共生型イベントについて	13名

○福祉まつり等開催事業

運営に携わる人が協働する機会事業を実施し、団体の枠組みを超えた活動を通して、福祉活動が共通の目標の下で一体的に取り組まれる機運を高めることを目的に開催した。

開催日	事業名	開催場所	参加者数
9月24日	八頭町福祉まつり	八東総合運動公園	741名

○地域共生にじいろフェスタ

開催日	事業名	開催場所	参加者数
3月2日	地域共生にじいろフェスタ	八東体育文化センター	133名

○まちづくり委員会活動助成事業

	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
まちづくり委員会助成	5団体	4団体	3団体	12団体	12団体

○災害見舞い事業（地震、豪雨、火災等）

事業名（件数）	令和5年度	令和4年度
災害義援金事業（県内外）	20件	7件

【歳末たすけあい事業】

① 歳末たすけあい事業

事業名	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
おせち配布事業（独居、高齢者）	129名	67名	81名	277名	315名
重度障がい者歳末贈り物	74名	36名	35名	145名	145名

事業					
作業所歳末行事助成	38名	30名	16名	84名	80名

2-3 福祉学習の推進と担い手づくり

(1) 福祉教育の推進

福祉教育分野では、児童、生徒、学生のボランティアを積極的に受け入れ、福祉の心を育てる取り組みを進めるとともに、地域での共生型交流事業等を通じて地域住民の福祉学習を進めた。

① 福祉教育指定校の設置

町内の全学校を福祉教育推進校に指定し、児童・生徒の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加促進を図った。

	郡家	船岡	八東	合計
小学校数	2校	1校	1校	4校
中学校数	1校	—	—	1校

② 福祉教育指定校との意見交換会・担当職員連絡会の開催

開催日	指定校	開催内容
7月	小・中学校5校	各校を訪問し、福祉教育推進校助成ならびに生産活動助成について、各校における福祉学習への協力・連携について説明・相互確認実施

③ 生徒への福祉体験学習の実施

町内の中学生、高校生等の福祉体験学習の場を提供し、そこから得られる出会いと共感の中から、心を育み、社会福祉への理解と関心を深めることを目的に実施した。

開催日	事業内容	開催場所及び開催校	参加者数
5月16～18日	「ワクワク八頭中」受入れ	社協本所・各支所	4名
8月2日	ボランティア体験事業「地域をよくするプロジェクト」	国中改善センター	2名
9月24日	福祉まつりボランティア	八東総合運動場	5名

④ 町内小中学校・各種団体への講師派遣

開催日	講演・授業内容	開催場所及び開催校	参加者数
4月26日	あいサポート研修	郡家東小学校（5年生）	25名
6月8日	高齢者疑似体験	郡家西小学校（5年生）	60名
8月29日	あいサポート研修	郡家西小学校（3年生）	53名
9月7日	地域のおじいさん・おばあさんの活動について	郡家西小学校（5年生）	60名
9月7日	高齢者疑似体験	郡家西小学校（3年生）	53名
9月14日	社会福祉法人やず「介護老人保健施	郡家東小学校（5年生）	25名

	設すこやか」(介護士等)による授業(講師調整支援)		
9月21日	社会福祉法人やず「介護老人保健施設すこやか」(理学療法士)による授業(講師調整支援)	郡家西小学校(5年生)	60名
9月21日	車いす体験	郡家西小学校(3年生)	53名
9月28日	“まちづくり委員会”ってどんなどこ	郡家東小学校(5年生)	25名
2月15日	あいサポート研修	ケアハウスすこやか	32名

⑤ 八頭高校探究活動との連携

【看護医療類型芸術総合コース(3年生)】

開催日	開催内容	開催場所
4月19日	授業「交流に向けた対象者イメージ作りと取り組みについての検討」	八頭高等学校
10月13日	授業「地域の高齢者との交流」	大江地区福祉施設
10月27日	授業「芸術総合コースの授業の中で準備してきた紙芝居を地域の人に披露」	大江地区福祉施設

⑥ 美作大学ソーシャルワーク実習受入

これからの社会福祉を担う学生に対し、社会福祉専門職に求められる姿勢、態度及びソーシャルワーク技術を身につける実地指導の場を提供することで、地域の福祉人材の育成につなげるとともに、本会が行う福祉サービスの向上及び本会職員の育成に役立てることを目的に実施した。

【社会福祉学科(3年生)】

開催日	開催内容	開催場所	受入人数
9月12日～9月21日 (7日間) 56時間	実習プログラムを作成し、目標に沿った指導を実施	郡家老人福祉センター他	1名

(2) 福祉学習プラットフォームの推進

地域住民と地域の子供たち、当事者やその家族、大学生ボランティア等が交流することにより、その地域を知るとともに、地域の良いところを確認し、お互いの理解を深める共生型交流事業により、地域での福祉学習を展開した。

① 学生・教職員の福祉体験実習の受入れ

障がい者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行う施設として学生等の資格取得するための受入れ支援を行い、また、専門人材育成のための医療・福祉専門職の地域実習の受け入れを調整した。

○まちづくり委員会への看護実習生の受け入れ

開催日	受入	受入人数
8月1日～8月23日	10地区まちづくり委員会	延べ73名

②八頭高校医療看護類型コースでの語り合いプログラムの実施

障がいの当事者やその家族の体験を聴き、感じたことを当事者を交えて互いに語

り合う機会を通じて、共感的な理解と福祉的視点を育むことを目的とした「語り合いプログラム」を、同コース3年生のカリキュラムとして、学校・当事者・社協の協働のもとで実施した。

開催日	開催内容	詳細
10月10日	導入授業	地域共生社会と語り合いプログラムの意義
10月24日	当事者との出会い	交流を目的としたレクリエーション
10月31日	当事者との語り合い①	引きこもり体験の当事者
11月7日	当事者との語り合い②	統合失調症の息子を持つ母親
11月14日	当事者との語り合い③	脊髄損傷の当事者
11月21日	振り返りワークショップ	学んだこと・感じたことの出出

(3) 福祉人材育成と専門職育成機関との連携

① 鳥取市医療看護専門学校・鳥取看護大学との連携

地域包括ケアシステムの構築・地域医療の充実が求められる中、担い手の育成には、高齢・障がいがあっても地域でいきいきと暮らす姿とそれを支える地域の在り方を理解することが重要となっている。

県内の2育成機関からの要請に応え、地域住民活動や福祉活動についての講義、地域での実習及び演習の受け入れを行った。

○鳥取市医療看護専門学校

開催日	開催内容	開催場所	受入人数
5月23日	「地域と看護を知る実習」 八頭町の紹介／社協・福祉団体・まちづくり委員会の説明	八頭町中央公民館	71名
6月12日	「健康とリラクゼーション」 レクリエーションの目的と実践場面での活用	鳥取市人権交流プラザ	80名
7月8日	「地域と看護を知る実習」 船岡老人クラブ福祉大会参加	船岡小学校	7名
7月22日	「地域と看護を知る実習」 三障がい団体合同体育大会参加	八東体育文化センター	10名
9月2日	「地域と看護を知る実習」 郡家老人クラブ福祉大会参加	郡家東小学校	10名
9月24日	「地域と看護を知る実習」 八頭町福祉まつり参加	八東総合運動公園	10名
11月26日	やず*なかまフェス	八頭町中央公民館	10名
3月2日	地域共生にじいろフェスタ	八東体育文化センター	10名
3月23日	安部地区eスポーツ体験交流会	安部地区福祉施設	4名
3月25日	下私都春休み子ども交流会	下私都地区福祉施設	4名
3月26日	西郡家地区健康づくりの集い	八頭町中央公民館	4名
3月30日	上私都春休み交流会	上私都地区福祉施設	3名

○鳥取看護大学

開催日	開催内容	開催場所	受入人数
8月7日	「実習前オリエンテーション」 まちづくり委員会の活動と地域概況	郡家老人福祉センター	11名
8月9日	「看護学統合実習」 地域住民への訪問インタビュー	大御門地区・下私都地区	11名
9月11日	「看護学統合実習」 健康教室実施に向けたリハーサル・ 地域づくりの専門職による助言	郡家老人福祉センター	11名
9月14日	「看護学統合実習」 大御門地区・下私都地区での健康教室実施	大御門地区・下私都地区	11名
9月15日	「看護学統合実習」 健康教室実施後の地域住民への再インタビュー	大御門地区・下私都地区	11名
9月26日	「看護学統合実習」 実習報告会	郡家老人福祉センター	11名
10月5日	看護大学卒論調査	下私都地区	2名

2-4 共生型総合相談体制の構築

(1) 福祉相談支援センター「ほっと」の設置

相談窓口としての総合支援体制を行うために、あらゆる相談を一旦受け止めて課題を整理し、専門支援機関につなぐとともに、相談窓口としての機能充実を図った。

① 相談員の配置

事業名	相談員数	取得資格
共助の基盤づくり	1名	精神保健福祉士 2名
多機関協働事業	1名	社会福祉士 6名
生活困窮者自立相談支援事業	1名	公認心理士 2名
家計改善支援事業	1名	介護支援専門員 6名
アウトリーチ事業	1名	介護福祉士 6名
フォローアップ事業	1名	ファイナンシャルプランナー 1名
生活支援コーディネーター	2名	※重複あり
合計	8名	

② 広報・周知

方法	備考
窓口にチラシ設置	社協
関係機関相談員による対象者への紹介	福祉課、保健課、包括支援センター、税務課、子育て支援センター他
講演による事業説明	社協役員、民生児童委員、介護支援専門員連絡会

イベント配布	ほっと市、ほっと×Dogプロジェクト
区長会配布	年2回配布
直接配布	相談対応時

③ 相談事業体制の一本化

暮らしの中の不安や困りごとを抱えておられる方の相談窓口を一本化し、八頭町福祉相談支援センター「ほっと」とし、地域住民や福祉委員との連携やそれぞれの専門職が連携して関わることで相談体制の充実を図った。

事業名	延べ件数合計	令和4年度
生活困窮者自立支援事業	464件	412件
家計改善支援事業	52件	156件
被保護者家計改善支援事業 ※	16件	
地域相談（まちづくり、地域の見守り等）	35件	107件
日常生活自立支援事業	743件	631件
生活福祉資金貸付事業	111件	182件
多機関協働事業	133件	47件
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 ※	19件	
参加支援事業 ※	126件	
その他（他機関へつなぐ、情報共有等）	14件	23件
合計	1713件	1558件

※令和5年度より実施

(2) 重層的支援体制整備事業

日本社会を特徴づけていた社会のあり方が変わり、住民の生活も変化する中で、様々な支援ニーズが表れてきており、これまでの福祉政策による子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者といった縦割りの支援体制だけでは、様々なニーズへの対応が困難になっている。今年度は、町における既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、町から委託を受け、多機関協働事業、アウトリーチ事業、参加支援事業に取り組んだ。

① 重層的支援体制整備事業に係る町内連携会議

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
6月22日	令和5年度準備事業実施方針について	八頭町保健センター	12名
2月28日	重層的支援体制整備事業実施計画について	郡家保健センター	13名

② 多機関協働事業

多機関の連携・協働体制を強化し、複雑化、複合化する生活課題を包括的に受けとめることができる相談体制と、専門分野を横断した支援ネットワークの構築を図った。

○弁護士相談件数

開催場所	弁護士相談	回数/件数	令和4年度
------	-------	-------	-------

郡家老人福祉センター	相談回数	12回	6回
	相談件数	18件	10件

③ アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

自ら支援につながる事が難しい人、支援が必要であるにも関わらず届いていない人に対し、つながり続ける相談支援を行った。

	郡家	船岡	八東	合計
新規相談案件数	1名	1名	1名	3名
延べ相談件数	14件	5件	1件	20件

④ 参加支援事業

狭間のニーズに対応するため、本人のニーズと地域資源との間を取り持つことで多様な資源の開拓を行い、社会とのつながりを回復する支援を行う。今年度は、個別相談から地域資源へのつながりをつくることを目的に、個別相談支援を通じた参加支援事業を展開し、地域づくりと個別支援の両輪での支援体制の構築を図った。

○ほっと×Dog プロジェクト

地域づくりの一環として、日本スクールドッグ協会と協働し動物介在活動を取り入れた地域住民の居場所づくりを展開した。

開催日	事業名	開催場所	参加者数
11月22日	ほっと×Dog プロジェクト キックオフ講演会『スクールドッグってなんだろう?』～ふれあいの先に広がる世界～	郡家老人福祉センター	28名
2月2日	第1回 ほっと×Dog プロジェクト	国中改善センター	12名
2月16日	第2回 ほっと×Dog プロジェクト	国中改善センター	10名
3月1日	第3回 ほっと×Dog プロジェクト	国中改善センター	13名
3月15日	第4回 ほっと×Dog プロジェクト	国中改善センター	11名

ほっと×Dog プロジェクト

開催日：毎月第1・3金曜日 14:00～16:00
 場所：国中改善センター 八潮町石田百井 2-2(国中保育所の隣)
 連絡先：八潮町福祉相談支援センターほっと 0858-71-0100

参加者は、犬と触れ合ったり、一緒に散歩をしたり、参加者同士で交流したり、時間内でそれぞれ自由に遊ばれています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

ほっと×Dog プロジェクトとは
 「八潮町福祉相談支援センターほっと」と「日本スクールドッグ協会」による、動物介在教育の手法を取り入れた新たな居場所づくりについて考えるプロジェクトです。



犬がいる、犬と過ごすという動物介在活動を地域で展開しています。



○個別支援の相談件数

	郡 家	船 岡	八 東	合 計
相談案件数	1名	2名	2名	5名
延べ相談件数	93件	26件	10件	129件

(3) 心配ごと相談事業

地域住民からの多様な生活課題を受け止め、解決に向けた相談支援を行うとともに各関係機関や地域とのネットワークを構築し、地域における幅広い協働や連携のもと課題解決に向けた支援体制づくりを行い、住民の福祉向上を図った。

① 民生児童委員との連携

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
民生児童員数	26名	15名	16名	57名	59名
相談件数	33件	9件	3件	45件	4件

② 地区総合相談窓口との連携及び相談機能の支援

- ・まちづくり委員会に配置された生活支援相談員への支援
- ・集落支援員増員地区（2名体制）10地区

（上私都地区、中私都地区、下私都地区、東郡家地区、大御門地区、船岡地区、済美地区、隼地区、大江地区、安部地区）

(4) 日常生活自立支援事業

県社協と連携を取りながら、高齢者や障がいのある方の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう福祉サービスの利用、日常的金銭管理の支援をします。また、日常生活に支障がある方の、福祉サービスの利用に関する相談、助言等の事業の推進を図った。

① 日常生活自立支援事業利用

（令和6年3月31日現在）

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
生活支援員数	2名	2名	0名	4名	4名
利用者数	7名	5名	1名	13名	10名

② 相談援助件数

対象 地域	高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合 計	令和4年度
郡家	91件	56件	98件	44件	289件	292件
船岡	127件	27件	60件	0件	214件	288件
八東	174件	0件	69件	0件	243件	51件
合計	392件	83件	227件	44件	746件	631件

③ 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
4月6日	日常生活自立支援事業 新任担当職員研修	倉吉福祉センター	3名

12月4日	生活支援員地区別研修会	鳥取県立福祉人材研修センター	4名
-------	-------------	----------------	----

(5) 生活困窮者自立相談支援事業

近年の社会経済構造の変化に対応し、生活保護受給者以外の生活困窮者への支援を抜本的に行う生活困窮者自立支援法の施行により、自立相談支援事業として関係機関と連携を図りながら、取り組んだ。

① 生活困窮者自立相談支援事業

自立支援相談事業	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
新規相談件数	31件	5件	14件	50件	47件
継続支援件数	15件	9件	6件	30件	33件
プラン作成件数	10件	2件	1件	13件	11件

② 支援調整会議等開催

会議内容	開催場所	開催回数	参加者
自立支援調整担当者会議	郡家保健センター 郡家老人福祉センター	6回	38名
個別支援調整会議（プラン検討）	郡家保健センターほか	29回	66名

③ 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
4月12日	令和5年度生活福祉資金市町村社協担当職員事業説明会	オンライン	1名
4月28日	令和5年度生活困窮者自立支援事業初任者研修会	倉吉福祉センター	3名
5月31日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務研修会	倉吉体育文化会館	2名
6月20日	令和5年度障がい者虐待防止等研修	オンライン	1名
7月5日	生活困窮者自立支援事業担当者会	オンライン	2名
7月27日	令和5年度成年後見制度研修会	オンライン	2名
8月29日	生活困窮者自立支援推進会議	オンライン	1名
9月26日	令和5年度第1回社協職員オンラインサロン	オンライン	1名
10月16日 17日	令和5年度家計改善支援事業従事者養成研修	オンライン	2名
10月23日	親子の支援を語ろうキャラバン	鳥取県生涯学習センター	1名
11月21日	地域定着支援に係る関係機関等連絡協議会	鳥取刑務所	2名
11月29日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務に係る市町村社協担当職員研修会	倉吉体育文化会館	2名
12月3日 4日	社会福祉士実習指導者講習会	松江市総合福祉センター	1名

1月16日	令和5年度地域貢献セミナー	新日本海新聞社 中部本社ホール	3名
2月8日	令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修③「ヤングケアラーその背景と家族との関り」	オンライン	3名
2月28日	中間的就労支援推進セミナー	オンライン	1名

④ 福司サポートナビ

開催場所	弁護士相談	回数/件数	令和4年度
郡家老人福祉センター	相談回数	10回	12回
	相談件数	10件	8件

(6) 家計改善支援事業

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、生活の再生に向けた意欲を引出し、早期に生活が再生されるように、家計管理に向けた支援を行った。

自立相談支援事業との一体的な支援はもとより、行政機関、保健、福祉、就労、司法、教育、地域、ライフラインなどの多様な組織、団体とのネットワークの構築・強化・連携を意識して取り組んだ。

① 生活困窮者自立相談支援事業、関係機関、専門機関との連携

家計改善支援事業	郡家	船岡	八東	合計	令和4年度
新規相談件数	6件	0件	0件	6件	5件
継続支援件数	4件	5件	2件	11件	8件
新規家計プラン作成件数	6件	0件	0件	6件	4件

(7) 被保護者家計改善支援事業（令和5年度より）

家計に関する課題を抱えており、自立を助長する観点から家計改善支援を実施することが効果的と考えられ、本事業への参加を希望する生活保護世帯を対象として取り組んだ。

被保護者家計改善支援事業	郡家	船岡	八東	合計
新規相談件数	3件	1件	1件	5件
新規家計プラン作成件数	3件	0件	0件	3件

(8) 八頭町フードサポート事業

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者に、生活に必要な食料等を提供し、生活再建に向けた支援を行うための事業として推進を図った。鳥取県生活環境部循環型社会推進課が行うフードドライブ事業について、町と連携して事業の周知、食品の受付、寄付食品の提供調整を行った。

① フードサポート事業

	協力登録数 (業者・個人)	利用者数	物資提供支援件数
フードサポート事業	8件	8名	10件
令和4年度	8件	6名	3件

(9) 第2次八頭町地域福祉活動計画（第1期八頭町地域福祉推進計画）の推進

① 事業進捗管理委員会の開催（進捗管理委員20名）

回数	開催日	出席/定数	内 容
第1回	7月3日	20/20	第1期地域福祉推進計画最終評価について

(10) 「第3次八頭町地域福祉活動計画」の策定（重点項目）

八頭町における地域福祉活動を推進するための、地域住民をはじめとする多様な主体が相互に協力して活動・行動するための中核となる「第2次八頭町地域福祉活動計画」の計画期間が令和5年度で終了することに伴い、次期活動計画の策定を町と連携を図りながら一体的に行い、3月25日の策定委員会をもって承認、策定へと至った。

重点であるまちづくり委員会の活動支援については、地域再編に向けて、まちづくり委員会の今後のビジョンを様々な地域の活動主体を巻き込んで策定を進めた。

① 策定委員会の開催（策定委員20名）

回数	開催日	出席/定数	開催内容
第1回	8月21日	15/20	第1期地域福祉推進計画評価による課題整理と社会的要請
第2回	10月6日	18/20	第1章八頭町地域福祉推進計画の特徴と位置づけ、第2章八頭町の現状と課題、基本方針、基本原則の承認
第3回	12月15日	17/20	第1章～第4章の承認及び再犯防止推進計画の計画体系について
第4回	1月9日	13/20	第2期地域福祉推進計画（素案）の承認について
第5回	2月19日	16/20	第2期地域福祉推進計画の承認について
第6回	3月25日	18/20	第2期地域福祉推進計画製本版について

3 資金貸付事業

社会的基盤の不安定な低所得の方々に、低金利又は無利子での貸付けを行い、自立に向けた取り組みを推進した。

① 資金貸付事業件数

(令和6年3月31日現在)

資金貸付事業名 (上半期)	合 計		令和4年度	
	件 数	貸付総件数	件 数	貸付総件数
生活福祉資金貸付事業	31	152	16	159
緊急小口資金 (新型コロナウイルス感染症対応)	41		47	
総合支援資金 (新型コロナウイルス感染症対応)	80		96	
高額医療費貸付事業	0	0	0	0

小口資金貸付事業	1	1	1	1
----------	---	---	---	---

② 特例貸付フォローアップ相談・支援事業（令和5年度より）

緊急小口資金等の特例貸付において、償還免除の承認を受けた方や償還が困難など、特に支援が必要と考えられる借り受け人に対し、フォローアップ支援を行った。

特例貸付に係るフォローアップ支援	令和5年度
相談件数	49件

4 施設管理運営及び指定管理施設の運営

(1) 郡家老人福祉センターの施設管理

郡家老人福祉センターとして、在宅福祉サービスやボランティア活動などの地域福祉の拠点として利用を促進し、管理運営・維持管理を行った。

① 利用状況

	令和5年度	令和4年度
利用件数	50件	44件
利用者数（延べ利用者数）	566名	549名
利用料収入額	20,600円	27,750円

(2) 委託施設管理（指定管理施設の運営）

八頭町社会福祉協議会では、八東地域福祉センター及び船岡保健センターの2施設を町から指定管理を受託し、地域福祉のコミュニティ拠点となるよう運営に努め、ボランティア活動等の地域福祉活動の場となるように施設の管理運営を行った。

① 船岡保健センター（令和4年度～3年間の指定管理）

	令和5年度	令和4年度
利用件数	185件	233件
延べ利用者数	2,008名	2,429名
センター利用収入額（円）	0円	0円

② 八東地域福祉センター（令和4年度～3年間の指定管理）

鍛冶屋温泉利用状況

	令和5年度	令和4年度
町内利用者数	9,437名	7,558名
町外利用者数	3,640名	3,049名
身障等利用者数	1,387名	1,121名
ポイント券利用者数	589名	460名
利用者数合計	15,053名	12,188名
温泉利用収入額（円）	4,393,000円	3,587,400円

5 介護予防・地域支援事業（町受託事業）

（1）生活支援コーディネーターの配置

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の実施にともない、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的としている。関係者のネットワークや既存取組・組織等も活用しながら、地域において高齢者の身近なところでニーズに合ったサービスの開発やサービスの担い手の発掘・養成等を行う、生活支援コーディネーターを配置して事業を推進した。

① 生活支援の担い手の養成

高齢化や地域の繋がりが希薄している現在、生活の中のちょっとした困りごとや課題に対し地域で支えることのできるボランティア「生活支援サポーター」の養成講座を開催した。（修了者6名、ボランティアセンターへの新規登録者5名）

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
11月22日	①研修オリエンテーション・「ボランティア」について	八頭町中央公民館	7名
11月29日	②「認知症について」・「加齢に伴う心身変化と歩行介助時の注意点や見守りについて」	郡家老人福祉センター	10名
12月6日	③「障がいの理解と共生社会について」・「養成講座修了後の活動イメージについて」	郡家老人福祉センター	9名

② 集落の集いの場の実態調査

サロン未設置集落135集落に対し、住民が定期的集う場の状況についてヒアリング調査を行った。定期的な集いの場がある集落は91集落、定期的な集いの場はない集落は、44集落という結果となった。

③ 買い物ニーズ把握に向けたヒアリング調査

町内スーパーの閉店に伴う地域の買い物ニーズ把握を進めるため、特に影響を受けると想定される船岡地区11サロンに対し、参加者に対するヒアリング調査を行った。

④ 移動販売の試験販売コーディネート

FCI よろず社（ローソンのフランチャイズ店舗運営）による移動販売車の試験販売を5地区のまちづくり委員会とマッチングし、計6回実施した。

⑤ 福祉作業所とまちづくり委員会のマッチングによる買い物支援活動

まちづくり委員会の参加者の買い物ニーズと作業所の商品販売とのマッチングにより高齢者の買い物支援をした。

開催日	開催委員会	作業所
5月23日、8月22日、 10月26日、1月30日、 3月12日	隼地区まちづくり委員会	パレアナの家
5月30日	東郡家地区まちづくり委員会	たんぽぽ作業所
6月26日	上私都地区まちづくり委員会	たんぽぽ作業所

(2) 介護予防教室事業（一般介護予防事業）

高齢者の生きがいと社会参加を促進し、また要介護状態にならないようにするために、体操（百歳体操）・運動を取入れながら、認知症や寝たきり予防等の学習・レクリエーション等を通じて健康維持向上のための事業を行った。

① 介護予防教室事業（ミニディ、健康教室等）

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
介護予防教室回数（回）	84	81	71	236	230
延べ利用者数（名）	1,130	881	642	2,653	2,267
事業活動収入額（円）	—	—	—	7,444,800	7,203,800

(3) 通所型介護予防事業（はつらつ教室）（通所型短期集中サービス事業）

要支援者等（要支援1、2の認定者及び事業対象者）を対象に地域包括支援センターが作成する介護予防支援計画に基づき、運動器機能向上プログラムと口腔機能向上プログラムといった専門的で複合的なプログラムを集中的に実施し、要介護状態への予防、地域において生きがいのある自立した日常生活の営みができるように支援事業を実施した。

① はつらつ教室事業（運動器機能向上・口腔機能向上教室）

	郡 家	八 東	合 計	令和4年度
教室回数（回）	48	48	96	143
延べ利用者数（名）	506	587	1,093	1,117
事業活動収入額（円）	2,366,680	3,049,360	5,416,040	5,746,840

(4) 食の自立支援事業（任意事業）

栄養改善が必要な高齢者等に対し、配食の支援を行った。

① 食の自立支援事業（地域自立生活支援事業）

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
配食回数（回）	0	99	0	99	95
延べ利用者数（名）	0	198	0	198	228
事業活動収入額（円）	—	—	—	207,900	239,400

(5) 家族介護教室事業（任意事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくようにするため、高齢者を介護している家族などに介護の方法及び予防についての技術の習得、介護相談などの教室を開催した。

① 家族介護教室事業

	令和5年度	令和4年度
介護教室回数（回）	19	18
延べ利用者数（名）	121	115
事業活動収入額（円）	570,000	540,000

(6) 産前・産後ヘルパー派遣事業

母親の産前・出産後間もない時期に、体調不良等のため、育児や家事を行うことが困難な家庭にヘルパーを派遣し、育児や家事等の支援を行います。今年度の利用は、無かった。

6 介護保険事業の充実（重点項目）

安心した在宅生活や自立した日常生活を営むことが出来るよう、利用者のニーズの把握に努め、満足していただける質の高いサービスを提供していく。さらに、新型コロナウイルス感染症が流行する状況下においても、安心して利用していただけるよう感染対策を講じ、サービスの提供に努めた。

(1) 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険法に基づく訪問介護事業所として、要介護状態にある高齢者及び要支援等にある高齢者へのサービス提供の充実を図るとともに、職員の資質向上に努めた。

① 訪問介護事業利用状況

	令和5年度	令和4年度
訪問介護利用件数	2,724	2,407
介護予防・生活支援総合事業利用件数	793	781
利用件数計	3,517	3,188
訪問介護収入額（円）	9,425,930	8,333,130
介護予防・生活支援総合事業収入額（円）	2,531,940	2,477,660
収入額合計（円）	11,957,870	10,810,790

② 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
6月27日	介護専門職研修会（接遇）	オンライン	1名
7月12日	介護専門職研修会（認知症）	オンライン	1名
9月14日	介護専門職研修会（記録）	オンライン	1名
10月3日	介護専門職研修会（看取り）	オンライン	1名
2月16日	介護保険サービス事業者研修	船岡保健センター	2名
2月22日	介護サービス事業者集団指導	オンライン	2名
3月9～13日	社会福祉主事資格集合研修	中央福祉学院	1名
3月13日	高齢者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	1名

(2) 通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（デイサービス）

介護保険法に基づく通所介護事業所として、要介護状態にある高齢者及び要支援等にある高齢者に、サービスの充実を図るとともに、職員の資質向上に努めた。

① 通所介護事業利用状況（食事代等含む）

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
通所介護利用件数	6,761	3,856	6,551	17,168	17,373

介護予防・生活支援総合事業利用件数	808	758	887	2,453	3,021
利用件数計	7,569	4,614	7,438	19,621	20,394
通所介護収入額(円)	65,756,023	39,994,680	61,167,640	166,918,343	171,654,093
介護予防/生活支援総合収入(円)	3,226,704	3,205,400	3,623,930	10,056,034	12,849,577
利用者等利用料収入額(食事代)(円)	4,526,850	2,508,950	4,309,100	11,344,900	10,723,900
収入額合計(円)	73,509,577	45,709,030	69,100,670	188,319,277	195,227,570

② 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
7月27日	社会福祉施設等における食中毒発生防止について	オンライン	1名
8月、9月	福祉サービス苦情解決事業研修会	オンライン	3名
11月17日	介護専門職研修会(排泄)	鳥取県立人材福祉センター	1名
11月21日	介護専門職研修会(コミュニケーション)	オンライン	1名
12月5日	感染防止対策研修会	オンライン	1名
12月20日	介護専門職研修会(起居、移乗、ポジショニング)	オンライン	2名
2月1・7日	福祉の現場で働く看護職員研修会	オンライン	1名
2月16日	介護サービス事業者集団指導	オンライン	2名
2月29日	介護報酬改定セミナー	倉吉未来中心	1名
3月13日	高齢者虐待防止・権利擁護研修会	オンライン	3名

(3) 居宅介護支援事業

要介護者ができる限り住み慣れた地域で、最後まで尊厳をもって自分らしい自立した生活が送れるよう、居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成する介護支援専門員(ケアマネジャー)を配置し、2事業所で居宅介護支援事業を行った。

① 居宅介護支援事業利用状況

要介護認定者への居宅介護サービス計画の作成

	郡 家	八 東	合 計	令和4年度
居宅介護利用件数	1,866	1,580	3,446	3,455
居宅介護支援収入額(円)	32,609,960	28,766,150	61,376,110	61,637,610

② 介護保険受託事業

要支援1・2の認定の人に対して介護支援専門員が介護予防サービス計画を作成した。在宅で生活するための住環境の整備のため、在宅介護を支えるサービスとして手すりの取り付け等、住宅改修を支援した。

介護保険受託利用状況

	郡 家	八 東	合 計	令和4年度
居宅予防計画件数	212	134	346	387
認定訪問調査件数	130	84	214	223
住宅改修件数	0	0	0	0
利用件数計	342	218	560	610
居宅予防計画収入額(円)	973,860	617,940	1,591,800	1,744,980
認定訪問調査収入額(円)	354,900	229,320	584,220	608,790
住宅改修収入額(円)	0	0	0	0
収入額合計(円)	1,328,760	847,260	2,176,020	2,353,770

③ 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
6月7日	介護支援専門員連絡会	オンライン	7名
6月20日	障がい者虐待防止研修	オンライン	1名
6月～9月	主任介護支援専門員更新研修	オンライン	4名
7月13日	自閉症・発達障がいの基礎理解	オンライン	1名
8月7日	介護支援専門員連絡会	オンライン	3名
8月19日	県東部在宅医療・介護連携研究会	東部医師会館	1名
8月27日	地域社会・多文化委員会企画研修会	オンライン	1名
8月27日	介護認定調査員現任研修	オンライン	6名
9月9日	鳥取市認知症フォーラム	さざんか会館	1名
9月22日	福祉サービス苦情解決事業研修	オンライン	2名
10月11日	介護支援専門員連絡会（事例検討会）	オンライン	4名
11月13日	智頭八頭社協合同研修会	オンライン	4名
11月25日	県介護支援専門員連絡協議会研修会	オンライン	1名
12月5日	介護支援専門員連絡会（権利擁護）	郡家保健センター	4名
1月11日	町内居宅合同研修会	本所	8名
2月8日	県介護支援専門員連絡協議会研修会（報酬改定について）	オンライン	2名
2月10日	県介護支援専門員連絡協議会研修会（アンガーマネジメント）	オンライン	3名
2月16日	介護支援専門員連絡会（ハラスメント）	郡家保健センター	8名
3月13日	高齢者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	2名

7 障がい福祉サービス事業の充実

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業所として、障がいのある方々が自立した日常生活を営むことができるようヘルパーを派遣し、サービスの質・量が確保されるよう諸機関との連携を図り、サービスを提供した。

障害福祉サービス事業の居宅介護事業（ヘルパー）は、船岡事業所で事業を行い、生活介護事業については、町内2カ所で事業を行った。

① 障害福祉サービス事業

	郡 家	船 岡	八 東	合 計	令和4年度
居宅介護事業利用件数	0 件	829 件	0 件	829 件	662 件
重度訪問介護事業利用件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
生活介護（基準該当）利用件数	28 件	0 件	50 件	78 件	61 件
利用件数計	28 件	829 件	50 件	907 件	723 件
事業活動収入額（円）	194,040	4,636,420	332,640	5,163,100	3,826,470

② 職員研修

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
4月24日	令和4年度障がい福祉サービス集団指導	オンライン	2名

8 共同募金委員会への協力

八頭町共同募金委員会を通して、地域福祉の推進のための事業として、赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい募金運動に協力し、職域募金や募金協力事業所などに募金活動への協力を努めた。

① 共同募金事業

	令和5年度	令和4年度
県外災害義援金（円）	149,279 円	0 円

② 八頭町共同募金委員会 運営委員・監事合同会議の開催

回数	開催日	出席/定数	審議事項	結果
第1回	4月26日	7/8	1. 令和4年度事業報告及び一般会計収支決算について、監査報告	同意
第2回	5月29日	6/8	2. 次期運営委員及び監事の選任について 3. 次期審査委員会委員の選任について	同意
第3回	6月6日	8/8	4. 会長及び副会長の選任について 5. 令和5年度共同募金の目標額及び共同募金推進計画の策定について	同意
第4回	9月6日	6/8	6. 共同募金の運動実施について	同意

第5回	3月7日	7/8	7. 令和5年度共同募金実績に伴う助成計画変更について 8. 令和5年度資金収支補正予算書について 9. 令和6年度事業計画及び資金収支予算書について	同意
-----	------	-----	---	----

③ 共同募金委員会 審査委員会の開催

回数	開催日	出席/定数	審議事項	結果
第1回	5月29日	5/6	1. 令和3年度募金による令和4年度配分事業実績の審査について	議決
第2回	6月6日	6/6	2. 委員長及び副委員長の選任について 3. 令和5年度共同募金助成計画策定について	選任議決
第3回	3月7日	4/6	4. 令和5年度共同募金実績に伴う助成計画変更について	議決

④ 共同募金委員会 監事監査会の開催

回数	開催日	出席状況	監査事項
第1回	4月19日	2名	令和4年度事業報告及び一般会計収支決算について

⑤ 火災・災害見舞い事業

事業名	令和5年度	令和4年度
火災見舞金事業（町内）	1件	0件
災害見舞金事業（町内）	0件	0件

9 諸団体等への活動支援

地域を支える諸団体の育成と支援を行い、地域福祉活動の推進を図った。

① 各種福祉団体の会員数

(令和6年3月31日現在)

団体名	郡	家	船岡	八東	合計	令和4年度
民生・児童委員協議会	28名	15名	18名	61名	59名	
老人クラブ連合会	1,354名	382名	133名	1,869名	2,091名	
身体障害者福祉協会	35名	27名	44名	106名	113名	
遺族会連合会	200名	107名	176名	483名	496名	
心身障害児(者)保護育成会	6世帯	4世帯	9世帯	19世帯	24世帯	

② 民生・児童委員との連携（一部掲載）

地域	開催日	事業内容	参加者数
郡 家	4月12日	4月定例会（支部総会）	20名
	5月18日	5月定例会（郡家支部活動方針について）	20名
	6月15日	6月定例会（中学校訪問）	13名
	7月6日	7月定例会（郡家支部活動方針について）	22名
	8月3日	日帰り視察研修（社会福祉法人れしーぶ みどりヶ丘教室）	15名
	9月5日	9月定例会（郡家支部活動方針について）	23名
	10月11日	10月定例会（八頭町相談支援センター「ほっと」について）	23名
	11月21日 22日	一泊視察研修（滋賀県栗東市）	9名
	12月7日	12月定例会（防災気象情報の役割について）	26名
	2月15日	2月定例会（地区を基盤とした見守り体制づくりについて）	18名
	3月9日	3月定例会（意見交換会）	20名
船 岡	4月20日	4月定例会（支部総会）	14名
	5月19日	5月定例会（第2期船岡支部民生児童委員活動方針策定検討）	15名
	6月28日	6月定例会（「認知症」や当事者の方とのかかわり方について）	15名
	7月26日 ～27日	県外先進地視察研修兼7月定例会（淡路市社会福祉協議会）	10名
	8月30日	8月定例会（生活保護制度について）	14名
	10月26日	10月定例会兼県内視察研修（夢工房こぼちゃん視察）	13名
	11月30日	11月定例会（母子生活支援施設のぞみについて）	13名
	12月13日	12月定例会（八頭町の子育て支援制度について）	13名
	2月22日	2月定例会（船岡作業所について）	13名
	3月14日	3月定例会（行政相談員制度について）	12名
八 東	4月18日	4月定例会（支部総会）	17名
	5月9日	5月定例会（八東支部民児協活動方針の見直し）	14名
	6月28日	県内視察研修（あいみ手間山地区振興協議会視察）	9名
	7月11日	7月定例会（八東支部民児協活動方針の見直し）	12名
	8月8日	8月定例会（八東支部民児協活動方針の見直し・民生委員の災害時における行動指針について）	12名
	9月5日	9月定例会（福祉相談支援センターほっとについて）	8名

	10月17日	10月定例会（地区を基盤とした見守り体制について）	12名
	11月29日 ・30日	県外視察研修（神戸・人と防災未来センター視察）	5名
	12月12日	12月定例会（生活保護制度研修）	14名
	2月13日	2月定例会（生活福祉資金貸付制度について）	14名
	3月12日	3月定例会（再犯者への支援と再犯防止に向けた取り組みについて）	14名

③ 老人クラブ連合会の事務、運営（一部掲載）

地域	開催日	事業内容	参加者数
本部	4月14日	令和5年度総会	41名
	6月30日	女性部奉仕作業	10名
	6月9日	スポーツ交流会（八東地域地域ウォーキング）	72名
	9月26日	会員研修会	49名
	10月6日	女性部会員研修会	15名
	11月22日	役員研修会	10名
	12月12日 ・1月24日	補助金説明会	
	1月1日	会報発行	
郡家	4月7日	令和5年度代議員総会	31名
	9月2日	老人福祉大会	193名
	11月29日	役員研修	13名
	9月20日	グラウンドゴルフ大会	37名
	9月21日	グラウンドゴルフ大会（雨天中止）	
船岡	4月6日	総会	18名
	7月8日	福祉大会	86名
	8月24日	グラウンドゴルフ親睦会	36名
八東	4月5日	評議員会	8名
	6月29日	高齢者福祉大会	46名
	7月12日	役員研修会（雨天中止）	8名
	11月7日	グラウンドゴルフ大会	22名

④ 身体障害者福祉協会の事務、運営（一部掲載）

地域	開催日	事業内容	参加者数
本部	4月21日	八頭町身体障害者福祉協会総会	20名
	5月23日	八頭郡身体障害者福祉協会総会	16名
	6月21日	八頭町身障者家族親善グラウンドゴルフ交流会	31名
	7月22日	八頭町身障協会・育成会・家族会合同体育大会	70名
	8月4日	八頭町身体障害者福祉協会奉仕活動	11名

	9月26日	鳥取県身体障がい者体育大会	10名
	9月29日	八頭町身体障害者福祉協会奉仕活動	16名
	10月4日	八頭郡身体障害者福祉協会グランドゴルフ大会	22名
	10月15日	鳥取県身体障がい者グラウンドゴルフ大会	8名
	10月24日	東部地区巡回スポーツ教室	6名
	11月7日	鳥取県身体障がい者福祉大会	7名
	11月20日	八頭町議会報告会・意見交換会	10名
	11月24日	八頭町身体障害者福祉協会健康教室	16名
	11月30日	八頭町身体障害者福祉協会家族親善研修会	22名
	12月1日～ 12月4日	鳥取県障がい者作品展示会	1名
	12月6日	八頭郡身体障害者家族親善体育大会	11名
	2月21日	鳥取県身体障害者福祉協会研修会	6名

⑤ 遺族会の事務、運営（一部掲載）

地域	開催日	事業内容	参加者数
本部	4月5日	郡遺族会総会	12名
	5月15日	町遺族会総会	10名
	10月16日	八頭郡遺族会員GG交流会	21名
	10月24日	鳥取県戦没者慰霊祭	23名
郡家	4月20日	護国神社春季例大祭	10名
	5月10日	郡家地域連合遺族会総会	10名
	9月22日	護国神社秋季例大祭	10名
	11月7日	郡家地域戦没者慰霊祭	52名 (会員39名)
船岡	4月20日	護国神社春季例大祭	3名
	4月	総会及び春季慰霊祭	(中止)
	9月22日	護国神社秋季例大祭	3名
	10月27日	船岡地域秋季慰霊祭	54名 (会員43名)
八東	4月12日	八東地域遺族会総会	21名
	4月20日	護国神社春季例大祭	5名
	9月22日	護国神社秋季例大祭	4名
	10月31日	八東地域戦没者慰霊祭	55名 (会員38名)

⑥ 心身障害児(者)保護育成会の事務、運営（主催事業のみ掲載）

地域	開催日	事業内容	参加者数
八頭町	4月22日	八頭町育成会総会	17名
	6月8日	第1回役員会	7名
	7月27日	第1回研修会（町福祉課による施策説明）	12名
	10月12日	第2回役員会	10名
	12月2日	第2回研修会（会員による体験の語り）	9名

	1月19日	第3回役員会	10名
	3月23日	第3回研修会（あいサポートファイル）	11名
	3月28日	第4回役員会	9名

10. 職員状況

① 職員数の状況 （令和6年3月31日現在）

	正職員	嘱託職員	継続雇用職員	臨時職員	登録職員	合計	令和5年度
本所	24人	2人	4人	3人	13人	46人	46人
船岡支所	7人	1人	2人	0人	19人	29人	34人
八東支所	10人	0人	2人	2人	25人	39人	39人
合計	41人	3人	8人	5人	57人	114人	119人

② 退職職員（令和5年11月30日付） 正職員 1名

退職職員（令和6年3月31日付） 正職員 2名

③ 職員の資格状況 （令和6年3月31日現在）

	社会福祉士	精神保健福祉士	社会福祉主事	介護支援専門員	保健師	看護師	理学・作業療法士	介護福祉士	ヘルパー1・2級
正職員	8人	3人	17人	22人	2人	8人	2人	27人	13人
嘱託職員	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	4人	3人
臨時登録	0人	0人	1人	2人	0人	6人	0人	20人	30人
合計	8人	3人	20人	24人	2人	14人	2人	51人	46人

11. 参考資料 （令和6年3月31日現在）

	令和5年度	令和4年度
八頭町の人口	15,663人	15,963人
八頭町の高齢化率 （65歳以上の人口比）	5,964人（38.1%）	5,977人（37.4%）
八頭町の後期高齢化率 （75歳以上の人口比）	3,158人（20.2%）	3,033人（19.0%）

(令和6年3月31日現在)

	介護保険 認定者数	居宅介護サー ビス受給者数	地域密着型サー ビス受給者数	施設介護サー ビス受給者数
要支援1	142	54	0	0
要支援2	157	85	2	0
計	299	139	2	0
要介護1	186	139	26	7
要介護2	194	134	26	27
要介護3	153	70	40	48
要介護4	195	66	31	87
要介護5	130	36	25	59
計	858	445	148	228
合計	1,157	584	150	228
令和4年度	1,143	595	164	197

(資料①)

八頭町社協 介護保険及び障がい福祉事業 年度別事業実績表

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問介護	船岡 実績額	19,559	21,050	15,292	13,468	13,816	10,810	11,958
	前年比	103.5%	107.6%	72.6%	88.1%	102.6%	78.2%	110.6%
	計 実績額	19,559	21,050	15,292	13,468	13,816	10,810	11,958
	前年比	103.5%	107.6%	72.6%	88.1%	102.6%	78.2%	110.6%
訪問入浴	船岡 実績額	4,717	5,918	1,292	—	—	—	—
	前年比	82.5%	125.5%	21.8%	—	—	—	—
	計 実績額	4,717	5,918	1,292	—	—	—	—
	前年比	82.5%	125.5%	21.8%	—	—	—	—
通所介護	本所 実績額	68,864	74,264	79,567	82,924	77,455	71,494	73,510
	前年比	100.4%	107.8%	107.1%	104.2%	93.4%	92.3%	102.8%
	船岡 実績額	68,260	66,924	68,584	59,404	55,159	47,635	45,709
	前年比	106.8%	98.0%	102.5%	86.6%	92.9%	86.4%	96.0%
	八東 実績額	71,086	77,611	78,350	73,546	72,476	76,098	69,100
	前年比	104.8%	109.2%	101.0%	93.9%	98.5%	105.0%	90.8%
	計 実績額	208,210	218,799	226,501	215,874	205,090	195,227	188,319
	前年比	103.9%	105.1%	103.5%	95.3%	95.0%	95.2%	96.5%
居宅介護支援	本所 実績額	38,581	39,607	39,539	37,096	35,241	33,800	33,939
	前年比	103.7%	102.7%	99.8%	93.8%	95.0%	95.9%	100.4%
	八東 実績額	24,857	27,647	27,770	27,710	31,091	30,191	29,613
	前年比	80.3%	111.2%	100.4%	99.8%	112.2%	97.1%	98.1%
	計 実績額	63,438	67,254	67,309	64,806	66,332	63,991	63,552
前年比	93.1%	106.0%	100.1%	96.3%	102.4%	96.5%	99.3%	
障害福祉サービス	本所 実績額	172	187	180	181	173	159	194
	前年比	124.6%	108.7%	96.3%	100.6%	95.6%	91.9%	122.0%
	船岡 実績額	2,326	2,527	2,670	2,996	2,717	3,404	4,636
	前年比	120.4%	108.6%	105.7%	112.2%	90.7%	125.3%	136.2%
	八東 実績額	331	291	292	307	325	263	333
	前年比	64.5%	87.9%	100.3%	105.1%	105.9%	80.9%	126.6%
計 実績額	2,829	3,005	3,142	3,484	3,215	3,826	5,163	
前年比	109.5%	106.2%	104.6%	110.9%	92.3%	119.0%	134.9%	
本所事業所 実績額	107,617	114,058	119,286	120,201	112,869	105,453	107,643	
前年比	101.6%	106.0%	104.6%	100.8%	93.9%	93.4%	102.1%	
船岡事業所 実績額	94,862	96,419	87,838	75,868	71,692	61,849	62,303	
前年比	104.8%	101.6%	91.1%	86.4%	94.5%	86.3%	100.7%	
八東事業所 実績額	96,274	105,549	106,412	101,563	103,892	106,552	99,046	
前年比	97.0%	109.6%	100.8%	95.4%	102.3%	102.6%	93.0%	
合計 実績額	298,753	316,026	313,536	297,632	288,453	273,854	268,992	
前年比	101.0%	105.8%	99.2%	94.9%	96.9%	94.9%	98.2%	

→総合事業開始 ★制度改正

→12月～新型コロナ発生

★制度改正

